

環境放射能対策にむけての国際シンポジウム

日時： 平成29年7月20日（木） 14：10－17：00

場所： とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）小ホール
〒960-8116 福島県福島市春日町 5-54

主催： 一般社団法人環境放射能除染学会

共催： 環境省

International Symposium of Countermeasures for Environmental Radioactivity Contamination

Thursday, July 20, 2017

Toho Minnno Bunka Center Small Hall

5-54 Kasugacho, Fukushima, City, Fukushima 960-8116, Japan

Organizer:

The Society for Remediation of Radioactive Contamination in the Environment

Co-organizer: Ministry of the Environment

プログラム(仮案)

14：10-14：40

1. 日本における除染・中間貯蔵の現状について

環境省 環境再生・資源循環局 除染業務室 室長補佐 上迫 大介

14：40-15：20

2. チェルノブイリ原子力発電所における事故後31年間の放射能汚染レベルの推移

福島大学環境放射能研究所 特任教授

Mark ZHELEZNYAK 博士（ウクライナ）

15：20-15：30 休憩

15：30-16：30

3. セシウムを含む廃棄物の再利用／リサイクル並びに長期保存にむけた挑戦

オランダ放射性廃棄物中央機構（COVRA）

Hans Codée 博士（オランダ）

16：30-17：00

4. 中間貯蔵にむけての歩みと今後の展望

中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）

代表取締役社長 谷津 龍太郎